

CRED NEWS LETTER

vol.11

平成30年4月

発行: 学修・教育開発センター(CRED)

◆ごあいさつ

学修・教育開発センター所長 井上俊哉

大学設置基準※では、「一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成すること」、「講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位」とすることを定めています。大学の授業では90分を2時間とみなし、90分の授業15回で2単位分に相当する30時間の授業時間を確保しています。しかし、授業時間だけでは2単位に必要な90時間の学修に60時間も不足しています。つまり、授業ごとに授業時間の2倍の授業外学修が求められているのです。別の視点から言えば、各授業は授業時間の2倍の授業外学修を前提とした到達目標を設定すべきということになります。

本学で、平成31年度からの導入を予定している年間44単位のCAP制は、単位の実質化の一手段です。しかし当然、履修登録単位数を制限するだけで、学生の学修が充実するわけではありません。授業外学修を前提とし授業外学修と連動した授業運営（たとえば反転授業）、学生たちを授業外学修へ誘うための創意工夫（たとえばmanabaの活用）などが必要です。平成31年度におけるCAP制の離陸に向けて、平成30年度は大切な助走期間になります。学修・教育開発センターは授業改革検討委員会と協力し、勉強会や講演会の開催その他を通じて、学科・科・推進室、個々の教員の皆さんの授業改善活動を支援して参ります。ご意見やご要望は、いつでも遠慮なくお伝えください。

※ 大学を設置するのに必要な最低の基準を定めた文部省（現在の文部科学省）の省令

◆平成30年度CREDメンバー

所長

井上 俊哉（心理カウンセリング学科）

副所長

平山 祐一郎（児童学科）

参事

大西 淳之（栄養学科）

佐藤 隆弘（児童学科）

並木 有希（英語コミュニケーション学科）

走井 洋一（児童教育学科）

センター職員

《専任職員》

安積 和広

宮 東城

矢野 穂

《業務補助員》

石原 明里

塩原 夏奈

《嘱託職員》

山本 優子

宜しく願いいたします。

◆アクセス 板橋キャンパス百周年記念館1階奥



FD、IR書籍の貸出もしています♪
お気軽にお越しください！



今年度も各学科・科・推進室の教育改善活動をサポートします！

《学科主体FD》

各学科・科・推進室のFD予算として、上限10万円の費用をCREDが支援します。

《共催によるFDイベント》

各学科・科・推進室が主体でFD講演会および研修会等を企画する際の講師謝礼金を、CREDが支援します。

《教学IR分析依頼》

各学科・科・推進室からの要望に応じたIR分析を行います。

今年度から！

今年度から！

まずは申請書を
ご提出ください！
お待ちしております。

◆ 申請書：学園HP所属別申請書・届出用紙一覧
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/staff/tabid/488/index.php>

ポリシー共有・検討会を実施いたしました。

3月28日（水）、平成31年度のカリキュラム改訂に伴い検討中の、各学科の暫定版ディプロマおよびカリキュラムポリシーの共有・検討会を実施いたしました。

当日は、全学科から55名の方々に参加いただき、大学・高校・企業（採用）関係者3名の学外アドバイザーの方に第三者視点からのご意見をお伺いいたしました。

事後アンケートでは全体を通じ「有意義」と回答した方が100%（非常に有意義・有意義を含む）と、満足度の高いイベントとなりました。

平成31年度カリキュラム改訂にともない公表される新ポリシーの今後のスケジュールは5月協議会で報告予定です。

引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

＜当日の様子＞

貸出書籍のご案内

『まんがFDハンドブック』 京都FD開発推進センター

これからFDを学ぶ人向けに、【新任教員編】【授業奮闘編】【成績評価編】にわかれた、漫画形式の読みやすい本です。

新年度のはじまりにどうぞご活用ください。

